

社会資本総合整備計画 中間評価書

平成30年3月12日

計画の名称	岡山県児島湖流域における、未来へ引き継ぐ清流づくり（防災・安全）							重点計画の該当				
計画の期間	平成25年度～平成32年度（8年間）		交付対象	岡山県								
計画の目標	児島湖流域下水道の機能維持を図り、安全・安心で快適な暮らしを実現し、良好な環境を継続する。											
計画の成果目標（定量的指標）	①児島湖流域下水道浄化センターにおいて、長寿命化計画に基づき改築すべき施設の改築率を0%から100%へ向上させる。 ②児島湖流域下水道管路施設において、長寿命化計画に基づき改築すべき施設の改築率を0%から100%へ向上させる。 ③児島湖流域下水道浄化センターにおいて、耐震化を行う必要がある施設の耐震化実施数を0%から82%へ向上させる。											
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考					
			当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H32末)	・岡山県国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：1-A1-1～1-A1-4全て						
①改築率（浄化センター） 改築済施設数／改築すべき施設数			0%	35%	100%							
②改築率（管路施設） 改築済施設数／改築すべき施設数			0%	26%	100%							
③耐震化率（浄化センター） 耐震化を行った施設数／耐震化を行う必要がある施設数			0%	14%	82%							
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	10,673	A	10,673	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	0%

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	岡山県
中間評価の実施時期	平成30年3月
公表の方法	岡山県のホームページ上にて公表

交付対象事業																					
A1 下水道事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）							全体事業費 (百万円)	備考		
											H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31			H32	H33
1-A1-1	下水道	一般	岡山県	直接	-	水セ	改築	児島湖浄化センター改築工事	水処理施設等 78,750m3/日	玉野市										8,514.5	(長寿命化)
1-A1-2	下水道	一般	岡山県	直接	-	水セ	改築	管路施設改築工事	管渠、人孔等	岡山市、倉敷市、玉野市、早島町										410.3	(長寿命化)
1-A1-3	下水道	一般	岡山県	直接	-	水セ	全種	児島湖流域下水道設計等	計画・調査・設計等	岡山市、倉敷市、玉野市、早島町										232.5	(耐震・長寿命化)
1-A1-4	下水道	一般	岡山県	直接	-	水セ	改築	児島湖浄化センター耐震化工事	水処理施設等 78,750m3/日	玉野市										1,515.7	(耐震化)
											小計（下水道事業）		10,673.0								

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）							全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
											合計							

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）							全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
											合計							

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）							全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
											合計							

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

その他関連する事業																
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）							全体事業費 (百万円)	備考
								H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
											合計					

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化した下水道施設（処理場・管路）の改築更新を計画的に行うことにより、事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図ることができた。 ・ 耐震化の対策実施により、地震時の安全度の向上が図られた。 			
II 定量的指標の達成状況	指標① 浄化センター改築率	中間目標値	35%	目標値と実績値 に差が出た要因	発注において機械設備、電気設備の効率的な更新に見直したことにより、事業進捗が図られた。
		中間実績値	42%		
	指標② 管路施設改築率	中間目標値	26%	目標値と実績値 に差が出た要因	比較的更新し易い人孔蓋の更新を早期に実施したことにより、事業進捗が図られた。
		中間実績値	88%		
	指標③ 浄化センター耐震化率	中間目標値	14%	目標値と実績値 に差が出た要因	改築更新と併せて実施することにより、事業進捗が図られた。
		中間実績値	18%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的に下水道施設の長寿命化・耐震化を行うことにより、施設の持続的な管理・運営を図る。 					